



新メンバー自己紹介

小林 純成



このたび、地震工学研究室に配属されました小林純成と申します。新潟県の中越高校・特進コースの出身です。趣味は、父と一緒にボウリングをしたり、ゲームを楽しんだりすることです。私は普通高校の出身で、研究に関する知識や経験がまだ十分ではありませんが、池田先生や志賀先生をはじめ、諸先輩方にご指導をいただきながら、少しずつ成長していきたいと考えています。これからの3年間、どうぞよろしくお願いいたします。

平林 千明



この春新しく地震工学研究室に配属されました平林千明です。出身は長野工業高等専門学校で卒業研究では交通渋滞を緩和するため対策をシミュレーションしていました。研究分野は異なりますが、地震研の研究も積極的に取り組んでいきたいです。研究以外の時間も充実したものにしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

小幡 蓮



この度、地震研に配属されました小幡蓮です！新潟市の出身で、新潟江南高校と言う普通科の高校から技大に入学しました。趣味はビリヤードとゲームで、ビリヤード同好会とeスポーツサークルに所属して楽しく活動しています。研究を行うことは初めてで不安はありますが精一杯頑張ります！よろしくお願いします！

新B4

坂井 響



このたび地震工学研究室に配属されました、坂井響です。普通科出身で研究経験はありませんが、実務訓練を通じて一つの分野を深く探求することの意義を実感し、高い意欲を持っています。元々長岡技大に入学した理由の1つが地震工学を学ぶことでした。研究室が変わり新たな環境でのスタート、前向きにがんばります！

ガステルム マルコ アウレリオ



4月から新しく地震工学研究室に配属されましたMarco Gastelum（マルコ・ガステルム）です！メキシコのヌエボ・レオン大学から来ました。地震工学研究室を選んだ理由は、日本という地震大国で多くのことを学べると思ったからです。現在はバスケット部に所属していて、旅行なども好きです！
これからの研究室生活では、技術的なことはもちろん、実践的な面でも多くを学びたいと思っています。よろしくお願いします！

松浦 朱里



この度、地震工学研究室に配属されました。B4の松浦朱里です。好きなことは旅行です。今年に入って東京、箱根、長野、日光、ディズニーに行きました。もっといろいろなところに行きたいです。研究をした経験がなく不慣れでみなさんに迷惑をかけることがあるかもしれませんが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

新M1

何多 (カタ)



何多(カタ)と申します。中国四川省出身で以前は西華大学で土木工学を専攻していました。地震が建築物に及ぼす影響やその対策について学びたいと考え、この研究室を選びました。趣味はオートバイで、日本でバイクツアーをしたいと考えています。先生方や皆様のご指導のもと、多くのことを学び、成長できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

野田 悠斗



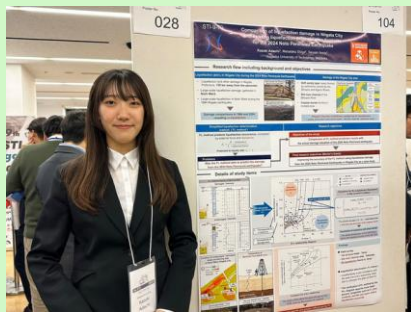
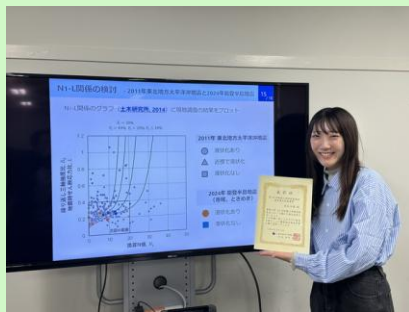
この度地震工学研究室に配属されました、野田悠斗です。島根県の松江高専から編入で長岡に来ました。昨年度は環境防災研究室に所属していましたが、今年度で閉鎖となったため、大学院進学タイミングでこちらの研究室に移ることとなりました。研究と趣味を両立し、充実した生活を送れるよう頑張りたいと思います。

2024年10月6日能登半島地震調査



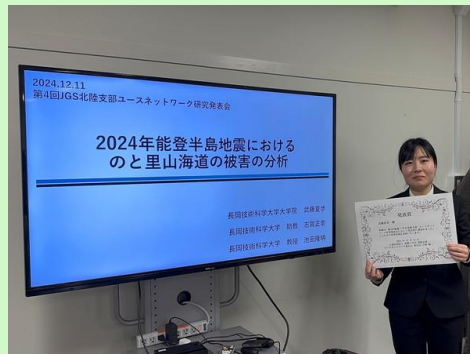
令和6年能登半島地震により、石川県内灘町では広範囲で液状化と流動が発生しました。内灘町は過去に人為的な地形改変が行われており、地形改変と液状化発生場所の関係に注目し、研究を進めています。その一環として、2024年10月6日に現地調査を実施しました。ニュースや新聞で被害を知っていたものの、実際に現地で被害を目の当たりにすると、その深刻さに衝撃を受けました。被害の再発を防ぐためにも、地形改変と液状化の関係を解明し、今後の防災に役立てたいと考えています。私の研究が社会に貢献し、より安全な街づくりにつながることを願っています。（齊藤）

祝・発表賞



今年度は、多くの学会や発表の機会に恵まれ、貴重な経験を積むことができました。特に、7月の地盤工学研究発表会では優秀論文発表賞を、11月のSTI-gigakuでは住友理工株式会社最優秀研究発表賞を受賞することができ、大変光栄に思います。これらの成果は、周囲の皆さまの支えがあってこそ達成できたものであり、ご指導くださった志賀先生、池田先生をはじめ、度重なる発表練習において貴重なアドバイスをくださった山口さん、研究室の学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。この経験を通じて、発表に対する自信が付いたと共に、今後の研究へのモチベーションも高まりました。来年度は、新潟会での土屋雷蔵賞を目指し、さらに精進してまいります。（安達）

昨年12月11日、第4回JGS北陸支部ユースネットワーク研究発表会が開催されました。本発表会はオンラインと対面のハイブリッド形式で行われ、各学生が自身の研究成果を発表しました。私は、能登半島地震で被災した「のと里山海道」の被災地点の特定結果や、当時作成中だった地形モデルについて発表し、発表賞をいただくことができました。新潟会の発表では、自分の思うような発表ができませんでしたが、今回は「作成した地形モデルについてわかりやすく説明する」という目標を掲げ発表し、その成果を得られて非常に嬉しいです。今後も積極的に学会に参加し、相手に伝わりやすいプレゼンを学ぶことで、発表スキルを向上させていきたいです。（武藤）



合同ゼミ In 高尾山



昨年10月30日から31日にかけて、長岡技術科学大学、室蘭工業大学、東京大学、群馬高専の3大学1高専が参加する合同ゼミが開催されました。今回は東京大学が幹事を務め、高尾山で実施されました。毎年恒例の研究発表会では、日頃TTSで質疑応答を行っていたこともあり、活発な議論ができたと思っています。他大学の発表を学会さながらの緊張感の中で聞くことで、多くの刺激を受け、自己成長につながる貴重な機会となりました。（北園）

池田先生、志賀先生をはじめ、多くの方に支えていただき、このたび無事に修士課程を修了することができました。思い出を振り返ると既に恋しい気持ちになりますが、それだけ皆様との研究室生活が充実していたのだと思います。

また、修士論文発表会では優秀論文発表賞を受賞することができました。有終の美を飾ることができたことに加え、支えて下さった皆様への恩返しができたこと、大変嬉しく思います。今まで本当にありがとうございました。（柳）



ご卒業・ご修了



修士論文発表賞、獲りました！うれしいです。同期の柳くんと2人で獲れたので、もっとうれしいです。

さて、大学院での生活を振り返ると、楽しい思い出ばかりではなく、特にM1では何となく生きていた結果、研究室では何もちょうどうまくいきませんでした。M2で変わりたいと思い、本当に色々なことを考えながら勉学や生活に向き合うようになりました。そのような機会をくれた研究室だからこそ私は成長できたと考えており、発表賞はその証の1つだと思います。研究室で関わった全ての人へ、多くの学びと成長の機会をありがとうございました。（佐藤）



一年間お世話になりました。先輩方から様々なアドバイスを受け成長した一年間でした（井上）
楽しくもあり、苦しくもあった1年間でした！ありがとうございました！（樋口）

修士論文

北園：【橋梁モニタリングシステム構築における安価な加速度計の計測性能、温度、温度履歴依存性の評価に関する研究】

佐藤：【全天球カメラを用いた地震被害構造物の形状把握に関する検討】

柳：【個別要素法を用いた等体積繰返しせん断過程における液状化エネルギー容量に関する検討】

課題研究

井上：【全天球カメラを用いた構造物の外形把握に関する研究】

樋口：【地震観測記録を用いた地震動伝播特性の分析】



みなさん、おめでとうございます！